みはら情景 わたしの想い出 ㉓ 神明市

▲昭和43年の神明市のようす

▲大だるまは今も変わらず名物になっています

ふれあいを呼ぶ伝統の市

毎年2月、東町・館町・本町一帯を中心に三原神明市が開かれます。「お正月にもらったお年玉をためて、早く神明市が来ないかなぁと楽しみにしていました」と語るのは、本町在住の帯賀信義さん。コルクの玉を打って景品をもらう射的が好きだったという帯賀さん。子どもの頃の遊び心は、いつの時代も変わらないようです。広場につくられていたお化け屋敷は、泣きながら出てくる子どももいるほど、本当に怖かった印象が残っているそうです。

親せきなどを呼んで、一緒に見物に行く家もあり、金物や陶器、植木など種類豊富な品物が集められた市を楽しみました。

「現在でも、神明市には孫につれられて毎年行きますよ。3日連続で出かけることもあります」と笑顔で語る帯賀さん。神明市は、物を売り買いする人々の交流のほか、家族の交流も育んでいます。「伝統的な行事が三原にもあるということを子どもたちに伝えたいですね。他市にないものが、市民の誇りとして受け継がれればよいと思います」と語ってくれました。

帯賀　信義さん
（本町一丁目）
「最近は露店でもさまざまなお菓子が売られていて、楽しいですね」

市民憲章

わたしたちは、海・山・空　夢ひらくまち三原をめざして、この憲章を定めます。

一　豊かな自然をいかし、美しいまちにしましょう。
一　歴史と文化を大切にし、人をはぐくむまちにしましょう。
一　みんなで助け合い、人がふれあうまちにしましょう。
一　心もからだも健康で、明るいまちにしましょう。
一　楽しく働き、活力あるまちにしましょう。

三原市歌

未来へ　かがやく三原

一　和久原沼田の　流れ清く
　　しまなみ遙か　瀬戸の海
　　文化と歴史　はぐくみ伝え
　　未来へ
　　かがやく三原

二　龍王宇根の　緑ふかく
　　ひろがる大地　高い空
　　希望と願い　翼に乗せて
　　世界へ
　　はばたく三原

各図書館、各支所でCDの貸し出しを行なっています。

税の納期

◎固定資産税・都市計画税（第4期）
◎国民健康保険税（第8期）
◎介護保険料普通徴収（第8期）
納期限　2月28日（水）
※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

あ・と・が・き

皆さんが覚えている神明市の思い出は何ですか。私の場合は手強い飴ですね。白いかたまりで、店の人が割りながら売っていました。その飴の手強さは、口に入れているときに突然やってきます。そのまま舐めていればよいものを、思わず噛んでしまったら、さあ大変。歯にひっついてなかなか取れない！無理をして取ろうとすると…歯の詰め物も一緒にポロッ！毎年、歯医者にお世話になっていました（泣）学習すればよいものですが、そこは子ども。おいしさにつられて、いつも買っていたことを思い出します▼先日、テレビの納豆効果を放送した番組でねつ造問題がありました。他人事ではなく、市民から間違いないと受け入れられる「信用」、信じて頼られる「信頼」のある広報をこれからも作っていかなければと、痛切に感じました。（ひろぞう）

三原市の人口

（12月31日現在）

世帯数	43,401世帯	（＋556）
人　口	105,319人	（－265）
男	50,543人	（－ 45）
女	54,776人	（－220）

（　）内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行／三原市秘書広報課（〒723-8601　広島県三原市港町三丁目５番１号　☎0848⑥⑦6007）　毎月１日発行
「広報みはら」は市役所１階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。また、点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。